

令和8年第3回定例会 教育厚生委員会 報告（要点筆記）

議案第63号 四国中央市老人つどいの家条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

切山老人つどいの家が廃止された後、建物はどのように利用されるのか。

○理事者

当該建物は、以前からボランティア活動をしていただいている方や、これから切山で事業を実施したい方などに、地域活性化の拠点として利用してほしいと地元の方に伺っている。

なお、切山老人つどいの家の廃止後は、建物を山おこし課へ移管し、今後の利活用について協議していく予定である。

○委 員

建物の老朽化が進んでいると思うが、耐震性の問題はないのか。

○理事者

鉄筋コンクリート造であり、現状で耐震性に問題はない。

○委 員

現在、本市に老人つどいの家は、いくつあるのか。

また、今後の活用方法や統廃合の計画などは検討されているか。

○理事者

切山以外に、川滝、二名、妻鳥上、金川、半田、上分、川之江西の合わせて8つの老人つどいの家が存在する。

また、市内の老人つどいの家については、四国中央市公共施設等総合管理計画において、ほかのコミュニティー施設との複合化を図る方針としており、今後は、施設の利用状況や地域の意向を確認しながら、活用方法等について検討したい。

○理事者

老人つどいの家は、昭和40年代から50年代に全国で整備された、老人福祉法に基づかない施設である。今後の方針としては、高齢者のコミュニティーを維持することを念頭に置き、ほかのコミュニティー施設との複合化等も含め、活用方法等について検討したい。

○委 員

建物の維持管理費について、山おこし課へ移管された後も市が負担する認識でよいのか。

また、建物の施錠等、管理方法について伺う。

○理事者

当該建物は、今年の10月に山おこし課へ移管される予定であるが、年度内は長寿支援課の予算で対応する予定である。来年度の維持管理費の計上については、まだ決定していない。

また、建物の施錠については、地元の自治会にお願いしたいと考えているが、協議が整っていないため、引き続き、山おこし課及び自治会と協議を重ねる予定である。

○委 員

老人つどの家の廃止後、建物を解体することは検討しなかったのか。

また、地元の自治会とどのような協議が行われたのか。

○理事者

建物の解体は、検討していない。今後、建物を有効活用していく予定であるが、将来的に利活用できなくなった際に、解体を検討したいと考えている。

また、地元の自治会としては、切山の散策や真鍋家住宅の観光に来られた方の休憩所など、切山地域の人以外も集える場として活用してほしいという要望をいただいている。

○理事者

四国中央市公共施設等総合管理計画において、ほかのコミュニティー施設との複合化を図る方針としていることから、建物に対する新たな投資をするのではなく、既存の施設を有効活用しながら、維持管理費が最低限となるよう工夫していきたい。

議案第65号 令和8年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

子ども食堂機能充実事業補助金及び子ども食堂運営支援補助金の内訳を伺う。

○理事者

子ども食堂機能充実事業補助金については、子ども食堂を開設する際の補助金であり、冷蔵庫や食器等の備品を購入するための費用に対して交付される。1団体の上限金額は35万円であり、今回は1団体分を計上している。

子ども食堂運営支援補助金については、子ども食堂を運営するための補助金であり、備品購入費のみではなく、食材費や保険代等に対しても交付される。1団体の上限金額は10万円であり、今回は2団体分を計上している。

○委 員

現在、市内に9か所ある子ども食堂への補助金は計上されていないのか。

○理事者

既存団体に対する補助金は、当初予算で計上している。

○委 員

土居窓口センター整備事業について、施設整備工事費の内訳を伺う。

○理事者

工事費の内訳は、2階のトイレの改修に約650万円、2階の床面の改修に約1,200万円、2階に設置される地域活動支援センターしゃぼん玉に設置する手洗い場や遮音壁に約300万円、その他エアコンの設置等に約4,300万円を計上しており、合計約6,450万円である。

○委 員

重層的支援体制整備事業交付金の用途について伺う。

○理事者

長寿支援課が所管の包括的支援事業に充てる費用である。

○委 員

小学校費及び中学校費のライセンス使用料について、概要を伺う。

○理事者

現在、利用している学習用生成A I ソフトの更新費用である。

○委 員

なぜ、当初予算ではなく、9月補正で計上されたのか。

○理事者

現在、東京学芸大学との連携協定を締結し、事業を実施しているが、令和7年6月にこの学習用生成A I を全校に導入し、本格始動したのは2学期以降となったため、このタイミングでの計上となった。

○委 員

現在、使用しているライセンスの使用料の総額はいくらか。

○理事者

デジタル教科書やロイロノート、ドリル等を合わせて約2,100万円である。

○委 員

莫大な金額が発生しているため、ライセンスの取捨選択をしていただきたい。

○委 員

民生児童委員実費弁償費補助金について、概要を伺う。

○理事者

現在、民生委員の年間報酬は12万400円であるが、国・県からの通達により12万8千円に改定されたため、差額の7,600円を増額するものである。

○委 員

この改定は、毎年実施されているのか。

○理事者

毎年ではなく、国からの通知があった場合に限り、実施されている。

○委 員

総合体育大会等出場補助金の概要を伺う。

○理事者

本補助金の趣旨は、部活動の全国大会等、上位大会に出場する際の交通費、宿泊費等の負担軽減であり、当初予算では400万円を計上していた。今回の補正では、昨年度の決算額を基に、今後の支出予定額を見込んだ金額を計上している。

○委 員

今年4月から開始されている第4期子ども読書活動推進計画について、現在の進捗状況を伺う。

○理事者

現時点で、具体的な取組は確認していないが、今後、図書館を運営する法人や学校との連携を深めながら推進したいと考えている。

○委 員

計画を策定した以上、プロジェクトチームを作るなど、推進するための取組を検討していただきたい。

○委 員

電子書籍も上手く活用しながら、本を読んでもらえる取組を検討していただきたい。

○理事者

計画を推進するために、指定管理料にも電子書籍の購入費を算定しているが、電子書籍は一定期間を過ぎると閲覧できなくなることも含め、適切に対応したい。

○委 員

学校給食費無償化事業について、今後の検討や議会への報告のスケジュールを伺う。

○理事者

先日、学校給食に関するアンケートを実施し、現在は回答の集計及び分析を行っている。このアンケート結果や先日の勉強会でいただいた委員からの意見を基に、来年度の方針を決定したいと考えている。なお、方針を決定した際には、報告事項として全議員に提示したいと考えている。

○委 員

報告事項であれば、議員の意見は反映されないという認識でよいか。

○理事者

令和8年4月27日に開催された議員全員勉強会において、協議事項として提示させていただいた。そのため、今回は市の決定事項として議員にお伝えしたいと考えている。

○委 員

市の意見を持った上で、アンケート結果を踏まえた議員の意見も聴取していただきたいが、いかがか。

○理事者

令和8年6月26日に開催された教育厚生委員会勉強会の中でも、委員から多くの意見をいただいた。その内容を踏まえ、今後の方針を検討したいと考えているため、御理解いただきたい。

議案第67号 令和8年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

質 疑

な し

議案第68号 令和8年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）

質 疑

○委 員

職員の賃上げ・職場環境改善支援事業費補助金について、歳入と歳出に差が生じているが、理由を伺う。

○理事者

歳出の35万5千円については、委託先の居宅支援事業所に支払う金額を計上している。歳入の55万4千円との差額19万9千円は、当課で介護予防支援に携わっている地域包括支援センター分の費用である。

主要事業 「小中学校施設照明LED化推進事業」

質 疑

○委 員

国の交付金は確保できないのか。

○理事者

補助金の交付要件の1つとして、単年度事業であることが挙げられる。現在、照明器具の納入に時間がかかる状況であることから、単年度事業として完了させることは難しく、補助金の確保は難しいと考える。